在胎 32 週未満または出生体重 1,500 g 未満で当施設に入院された患者様およびご家族の方へ

急性期離脱後の極低出生体重児における血糖値の変動と血清亜鉛値に関する調査のお願い

現在当院では、NICU に入院し治療を行ったお子様がより安定した状態を保てるよう、「急性期離脱後の極低出生体重児における血糖値の変動と血清亜鉛値に関する調査」を後方視的に実施しております。後方視的研究とは、過去に入院されたお子様の診療情報などのデータを用いて調査を行う研究です。

過去の診療情報を研究に用いることを、ご家族や代理人の方に改めてご説明し、ご同意を得ることは現実的には困難です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんお一人お一人から直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。したがって、院内掲示やホームページ等で研究内容を公開することで、同意をいただくことに代えさせていただいております。

本研究では、お子様の個人情報の匿名化を行っており、ご氏名やご住所など個人を特定できる情報は用いません。得られた情報は個人が特定されないようにデータベース化した上で、細心の注意を払い安全に管理します。なお、本研究により得られる研究結果は、医療の発展のためにまとめ、学会等で発表いたします。お子様が研究の対象に該当され、研究への情報提供に同意されないなどのご意志やご意見等がございましたら、ご遠慮なく下記研究代表者までお問い合わせください。

目的：本研究は、当科に入院した在胎 32 週未満または出生体重 1,500g 未満の早産児について後方視的検討を行い、急性期が過ぎた後の血糖値の変動の有無と血清亜鉛値との関連性を明らかにし、今後の治療や対策に役立てることを目的としています。

研究期間：2023 年 7 月～2024 年 3 月まで

対象となる方：2021 年 1 月～2023 年 6 月に当院新生児科に入院した在胎 32 週未満または出生体重 1,500g 未満のお子様

方法：カルテ情報に基づいた後方視的調査です。特別に何かしていただくことはありません。

研究に用いる情報の種類：病歴、検査データ等

研究実施機関：群馬県立小児医療センター

研究責任者：小泉　亜矢

研究共同担当者：丸山　憲一、市之宮　健二、鏑木　浩太、宮川　陽一、小柳　晴加

【問い合わせ先】

研究代表者氏名：新生児科　小泉　亜矢

〒377-8577 群馬県渋川市北橘町下箱田 770 番地

電話：0279-52-3551　FAX：0279-52-2045(代表)

E-mail：a-sho@gcmc.pref.gunma.jp